プリズム 251
PRISM 2026 / 11

渋谷区手をつなぐ親の会
〒151-0071 渋谷区本町2-9-17
ケアステーション本町内
TEL&FAX：03（3375）0333
oyanokaishibu8@gmail.com
https://oyanokai-shibuya.com

渋谷区本町こもれびの家 オープン！



渋谷区手をつなぐ親の会 会長　堀口 智子

渋谷区に素敵な家がオープンです。支援を必要とする本人・家族の多様化・高齢化・増加がどの地域でも課題になっています。その中でこもれびの家は、渋谷で安心して住み続けていきたいという私たちの願いを実現する支えになってくれると期待します。

地域で安心して暮らしていくには、その本人が地域とつながることが大切だと思います。子どもたちは幼い頃も年齢を重ねてからも、様々な経験をすることで成長していきます。こもれびの家でどんな経験が出来るのか、その経験が何につながっていくのか、今からワクワクします。

また、安心して生活できるもう一つの家の存在は、とても大切です。子どもを介護できない時、いつもと違う生活を経験したい時、迎えてくれる家があれば安心です。その安心感が日々の生活の安定やゆとりにつながるとも感じます。渋谷区内で長く活動実績のある、NPO法人渋谷なかよしぐるーぷの今後の活動に期待し、共に歩んでいきたいと思います。

渋谷区福祉部 部長　原 信吉

区立施設として初めて緊急一時保護や自立生活体験を実施する「本町こもれびの家」が、10月28日に開設しました。貴会の皆さまには、必要な機能やサービスについて多くのご意見やご助言を賜り、さらに施設名称の検討にもご協力いただきありがとうございました。

こもれびの「家」という名称には、宿泊や生活体験という暮らしの機能に加えて、障がいの有無に関わらず地域の皆さんが交流し、互いを知り、コミュニティを育む拠点になってほしいとの思いを託しています。

その思いを、地域で長く活動し利用者や関係者の信頼も厚い「渋谷なかよしぐるーぷ」にご理解いただき、区のパートナーとして運営を担っていただけるのは心強い限りです。

施設は作って終わりではなく、工夫や挑戦を重ねてアップデートすることが必要です。本施設が多くの方々に愛され親しまれるよう、今後もご意見やアイデアをお寄せいただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

渋谷区本町こもれびの家のご紹介！

施設長　浦野　耕司

10月28日。渋谷なかよしぐるーぷは、住み慣れた西原の一軒家での活動を終え、渋谷区が旧本町幼稚園を改修のうえ設置した「渋谷区本町こもれびの家」で活動することになりました。今までより広くなって、新事業も始まります。

私たちは、障がいのある人たちが住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるような社会になることを目指して、1970年に発足した団体です。住み慣れた地域で暮らし続けるためには、3階建てのサービス（1階：暮らしの場や教育、2階：日中活動の場、3階：プラスαのサービス）が必要と考え、活動を続けています。障がい児の子ども会活動からスタートし、放課後等デイサービス、緊急一時保護、居宅・移動支援事業、余暇支援事業など、特に3階部分を中心に本人と家族の暮らしを支えることを考えてきました。

今回の渋谷区からの事業委託により、住み慣れた地域で暮らし続けるための「準備」としての自立生活体験事業、渋谷なかよしぐるーぷの自主事業として、「障がい」という枠組みではなく「地域で暮らす市民」という視点での「集いの場」事業が始まります。

新スタッフも迎え、新しい場所で活動していきます。新しいことにワクワクすると同時に、慣れるまでご不便をおかけすることもあるかと思いますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

渋谷区委託事業　（くらし・なかよし）

村田　晋一郎

■ ちょこっとステイ
（知的障害者(児)緊急一時保護事業）

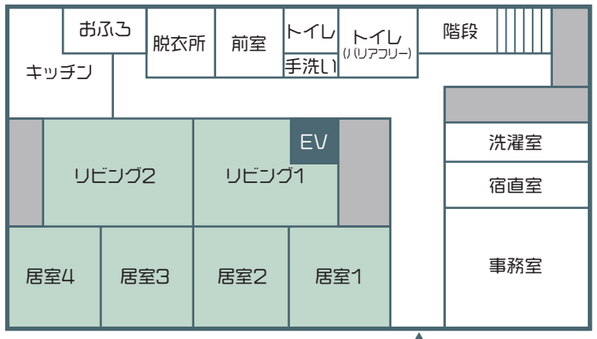
1回の利用は日帰りから6泊7日までです。

■ 自立生活体験事業

グループホームや一人暮らしにチャレンジしたい人が、3ヶ月間、定期的に利用を繰り返し、必要なスキルの習得を目指します。
1回の利用は14日以内、利用上限は延べ42日までです。







なかよしぐるーぷ自主事業

■ デイサービスなかよし（放課後等デイサービス）

大久保　徹

平日火曜～金曜と日曜日、定員10名です。広いお部屋で元気に活動します。

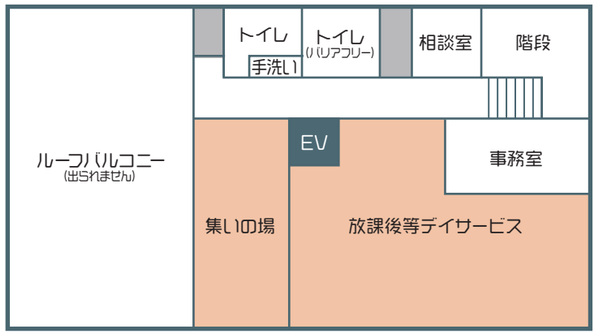
■ ぷらっと・なかよし（居宅介護・移動支援事業）

近藤　真史

移動支援、居宅介護の事務所もこちらになります。
介護保険になっても、引き続き居宅介護が利用できるようになりました。

■ 集いの場

障がいの有無に関わらず、地域の人や仲間など多世代が自然に集う地域の居場所（Living Hub）を目指します。












〒151-0071
東京都渋谷区本町 5-19-4
渋谷区本町こもれびの家
■ 運営事業者
NPO 法人渋谷なかよしぐるーぷ
tel：03-3485-3548
fax：03-5539-4880

▲こもれびの家 渋谷区ポータル
▲ なかよしぐるーぷ















連合会知的部レクリエーション

10月3日（土）　見晴らし園（シャインマスカット狩り）

久しぶりにお天気に恵まれ、行きも帰りも渋滞で急ぎ足の移動でしたが、最高の一日でした。お昼は、ほうとう、ちらし寿司、エビやコロッケのフライ、お腹いっぱいいただきました。数分間マイクロバスに乗り、ぶどう園に。この時とばかりにほおばる仲間も。食べ残しはしっかりお代を支払うシステム。私たちは5人で、日光によく当たっている大きな一房を残さず食べました。さすがシャインマスカット、美味しかった！ 帰りのバスもおしゃべりしたり、笑ったり、居眠りしたりと楽しく過ごしました。なかなか親子で出かけることが少ない中、バスレクは気軽に参加ができ、お互いを理解し合える仲間たちと楽しめ、ありがたいです。バスの乗り降りが難しい娘に寄り添ってくださるボランティアさんがいて、助かりました。来年も母は歳を忘れ、元気な限り頑張って、娘と一緒に参加できることを願っています。

スタッフやボランティアの皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。　（岡田　公恵）




東京都手をつなぐ育成会関連

●対話集会（6月15日・16日）
BIZ新宿

令和9年度東京都の施策・予算に対する対話集会が、6月15日に第1分科会（福祉局）、16日に第2分科会（教育庁）・第3分科会（産業労働局・総務局）に分かれて開催されました。

●都育成会との茶話会（8月27日）

都育成会の立原理事長と権利擁護支援センターの田辺さん・宮武さんが、都育成会の事業所がない地域の会員の声を聞くために来訪されました。茶話会を通して、日頃感じていることなどを話し合いました。




●東京都育成会大会（7月10日）
なかのZEROホール

第1部では式典、基調報告、都施策についての報告、本人発表が行われました。第2部では、信州大学医学部教授の本田秀夫先生より、「知的障害がある人たちを支える社会づくり―家庭と支援者の協働―」をテーマにご講演いただきました。







●大研修会（10月15日）
なかのZEROホール

「いのちの選別に向き合う社会に～ここからともに、つないでいく～」をテーマに開催されました。旧優生保護法の違憲判決を踏まえ、現代社会に残る「いのちの選別」に向き合い、「どんないのちも大切にする社会」について考える機会となりました。




しぶはち隊　出動！

●別校祭（8月29日）／代々木中学校

代々木中学校の建替えに伴い、開催された「校舎お別れイベント（別校祭）」に出店し、ミニバザーと疑似体験を行いました。中学生から大人まで、幅広い年代の方々に立ち寄っていただきました。





●はぁとぴあ祭（10月17日）／はぁとぴあ原宿

恒例のはぁとぴあ祭に出店し、ミニバザーと疑似体験を行いました。



●第44回地域フェスティバル ふるさとまつり2026（10月18日）／西原小学校

今年度も疑似体験とスタンプラリーに協力。子ども向けの疑似体験もたくさん用意し、楽しみながら体験をしてもらいました。




渋谷区障害者団体連合会
創立40年記念感謝のつどい（8月25日）

会場：渋谷エクセル東急ホテル

記念講演：「希望への大転換～僕の言葉は命～」

東京大学先端科学技術研究センター特任教授
福島 智 氏

渋谷区障害者団体連合会の創立40年記念に出席しました。式典では、40年の歴史を振り返る記念動画が上映され、これまでの活動が紹介されました。記念講演では、9歳で失明、18歳で失聴された福島氏が、お母様の考案したコミュニケーション手段「指点字」を通じて人や社会とのつながりを取り戻し、研究・教育活動を続けてこられたこと、そして、目も耳も使えない世界での感覚や、ご家族との歩みについて語られました。困難の中でも前向きに生きてこられたお話に深く感動しました。　（道井　美樹）





施設見学会（7月14日）
渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所
渋谷区生活実習所つばさ

都立中野特別支援学校PTAと共催した7月14日（火）の施設見学会で、幡ヶ谷のぞみ作業所と生活実習所つばさに伺いました。のぞみ作業所では、利用者の方々が真剣に作業をされているご様子や、自主製品の多様さが印象的でした。活動が多岐にわたるつばさでは、利用者の皆さまが悠々と活動されているお姿にもまた、子どもたちの近い未来を思い描くことができました。貴重な機会をくださった両施設に感謝いたします。　（新居 加寿子）




▲ 幡ヶ谷のぞみ作業所




▲ 生活実習所つばさ

夏休み施設体験実習

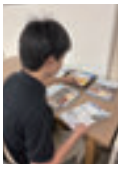
夏休み期間に、息子2人（高等部2年、中学部3年）と共に、就労継続支援B型のむつみ工房、福祉作業所ふれんど、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所の3か所へ伺いました。さおり織りや採便管組み立て、封入作業を体験させていただきました。職員や利用者の方々に温かく迎え入れていただき、親子共に卒業後のイメージを膨らませることができました。　（山﨑　綾）

▲ むつみ工房

▲ 福祉作業所ふれんど



初めての場所に戸惑いつつも、皆さんに温かく迎えていただき、紙ちぎりをするうちに、いつもの浮かれ調子が出てきました。親子で給食も楽しみ、卒業後の生活を知り、将来を考える貴重な機会となりました。　（藤野　喜代香）



賛助会員費ありがとうございました！

谷口奈保子さん	逸見貴之さん	安冨悠子さん
古戸勉さん	宮武都己子さん	小川晃さん
杉原圭子さん	野崎克己さん	小俣照雄さん

編集後記

本町幼稚園が「渋谷区本町こもれびの家」として生まれ変わりました。障がいの有無や世代を超えて人々が集い、交流を深める地域の温かな居場所となることを期待しています。